

円内(右から) 西村東京部・関東支部長、安藤依存問題PTリーダー、堀内専務理事、茂木風営法PTリーダー、のぞみ総研・日野氏

初の「支部交流・研修会」 東京都・関東

「遊技くぎ」「依存」を具体的に

行政講話、講演など織り交ぜて

東京都・関東支部は8月5日、東京・上野のオーラムで初の「支部交流・研修会」を開き、改善が迫られている遊技くぎの問題等について講演を聞くなど研修を行い、合わせて懇親会を開いた。研修会には、会員企業のホールを中心に161人が出席し、他団体からも幹部等約30人が聴講した。

ある。日遊協としてどう考えているのか、どう対処すればいいのかについて、皆様との交流の中で話ができればと思っている」とあいさつした。

警視庁保安課の測上宏和理事官が「ぱちんこ営業の現状とさらなる健全化」と題して講話を行った。同理事官は健全化へ向けて、①射幸性を抑える取組み ②のめり込み対策 ③不正改造の絶無 ④風営法の遵守(賞品の買取り・買取らせ問題、等価交換規制の順守) ⑤中古機流通における適正な運用——の5点に絞って協力を要請した。

依存対応が業界を守る

依存問題PT(プロジェクトチーム)リーダー、安藤博文氏が、3月にパチンコ・パチスロ産業界21世紀会が制定した「パチンコ店における依存(のめり込み)問題対応ガイドライン」について、ホールの対応を中心に講演した。「このガイドラインの概要は、パ

チンコ・パチスロに依存のリスクがあることをお客様に知っていただくこと、未然に抑止してお客様を守る

こと、ホールに依存問題に対応する体制を構築することの3点です。プレーに熱中しているお客様は、つと我に返るきっかけを、ホールの中にいっばい用意してほしい。それは既にホールでやっていることかも知れないし、決して難しいことではない。今いるお客様を守るということは、5年後、10年後の業界を守ることになるのです」と平素の対応の大切さを訴えた。

「遊技くぎ」への取り組み

堀内文隆専務理事が遊技くぎと一般入賞口の問題について概況を解説した。同専務理事は、「5月18日の警察庁からホール関係5団体への通知以後、様々な情報が乱れ飛んで、業界の混乱を深めている。事柄の性質上、明確に文書にできず、公式には口頭の説明もやりにくい。だからといってこのまま放置してはかえって状況を悪化させ、つけを後日に残すことになる。日遊協としては、警察庁、健

全化推進機構、他団体との意見交換を踏まえ、総合的に判断してこうあるべきではないかという一応の方向性は感じている。それを会員の皆様に説明して理解してもらうことは、一定のリスクはあるがこの時期のわれわれの責務であると判断し、研修会の開催に至った」と今回の趣旨を述べた。

実感できる入賞が必要

同専務理事は次いで健全化推進機構の遊技機性能調査の経緯を時系列で説明した上、「警察庁の通知と経緯を総合的に判断すると、少なくとも一般入賞口において、打った時に入ったと実感できるレベルでの改善が求められていると推察される」とし、今後の方向について、「根の深い問題で一朝一夕では解決できないが、難局を乗り切るために当面の対応と長期的な解決策を区分して考えていく。各ホールはぎりぎりのところで改善を行い、その上で業界としての長期的観点からの改善事項を要請していくことが必要」と述べた。

これを受けて、風営法PTリーダー、茂木欣人氏がスライドを使って具体的な対応を説明した。同氏は、「警察庁の認識では、物理的に玉





初めての支部交流会を終え和やかな懇親の場を持った

6団体代表が取扱いを協議

新基準に該当しない遊技機

新基準に該当しない遊技機を取扱いについて、6団体代表者会議（全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商）が8月21日、東京・市谷の全日遊連会議室で開かれた。

新基準に該当しない遊技機を取扱いについては、全日遊連が6月の全国理事会で基本方針を決めており、この基本方針を巡っては7月15日に1回目の6団体代表者会議が開かれ、今回が2回目の会議となった。日遊協が全日遊連はじ

が通るかどうかではなく、実際に打って入ったことが体感できないものはアウト」であることを強調し、「まったく入らない状況をから脱却し、一定数入るような改善をともしして行こう」というのがこの研修会の趣旨だ」と述べた。

その上で、「一般入賞口のくぎ曲げ、ねじりの是正を行い、状況を改善する。ただしホールコンピュータのデータを確認するだけの自己満足で終わらせず、実際に打ってみて、例

め各団体の意向を踏まえた対応案を示し、各団体がそれぞれ意見を述べ協議を行った。

〔おもな出席者〕全日遊連▶阿部恭久理事長、伊坂重憲副理事長▶日遊協▶庄司孝輝会長、大久保正博副会長▶日工組▶筒井公久副理事長、井上孝司同▶日電協▶佐野慎一理事長、兼次民喜副理事長▶全商協▶中村昌勇会長、日野泰昌副会長▶回胴遊商▶伊豆正則理事長、大饗裕記副理事長

えば1000円で1個以上入賞できるかどうか確認してほしい」とアドバイスを行った。

最後に、(株)のぞみ総研の日野孝次朗氏が「風営法改正とコンプライアンスについて」と題し、6月に国会で成立したダンス営業に関連する風営法改正について講演した。

勉強のあと談笑の輪

この後、会員同士の交流のための懇親会に移り、会員企業から約100人が参加した。来賓の庄司孝輝会長が「今、いろいろな課題が重なっていて、途中経過で話し方がないものばかりだ。メーカーとかホールとかの責任を問うより、自分たちの営業が社会に提示されたときに、どう説明責任を負えるかということが一番重要なこ

とだと思う。今回はそのための勉強会だ。今後もこの産業をどうするかで一つにまとまって行動していきたい」とあいさつした。岸野誠人副支部長の乾杯の発声で懇親会がスタート、会場のそこそこに談笑の輪ができた。

なお、東京都・関東支部は、「支部交流・研修会」を折々のトピックスをとらえて随時開催することを確認している。

9月の行事予定

1日(火)~6日(日)	ラスベガス研修
1日(火) 10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(マリンパレスさぬき)
2日(水) 10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(マリンパレスさぬき)
13:30~15:30	RSN通常総会・理事会(全日遊連)
16:00~17:30	遊技機検討WG(全日遊連)
4日(金) 13:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会(豊丸産業)
15:00~16:30	広報調査委員会(本部)
16:30~17:30	WEBメディア情報交換会(本部)
10日(木) 14:00~16:00	推進機構理事会(連合会館)
11日(金) 10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(ベルサール神田)
12:00~13:00	人材育成委員会(日本橋 三洋物産)
13:00~18:00	女性活躍推進フォーラム(日本橋 三洋物産)
14日(月) 13:30~14:30	不正対策室会議(本部)
15日(火) 15:30~17:30	遊技機委員会(本部)
17日(木) 10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(ホテルニューオオタニ博多)
13:30~16:00	理事会(川奈ホテル)
16:30~17:30	秋季セミナー(川奈ホテル)
18日(金) 10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(ホテルニューオオタニ博多)
19日(土)	共生の森下刈(嵐山町)
28日(月) 13:30~14:30	ゴト対策4団体会議(全日遊連)
14:45~15:45	セキュリティ対策委員会(全日遊連)
29日(火)~10/2日(金)	皇居勤労奉仕
30日(水) 10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(名古屋ガーデンパレス)
	北海道支部総会(京王プラザホテル札幌)

全国7支部で「健全化勉強会」

「くぎ問題」の具体的対応へ

704名参加「有意義」の声

健全化推進機構が遊技機性能検査を行っている「遊技くぎ」問題に対し日遊協は、全国に改善の趣旨を徹底するために、各支部で7月から8月にかけて、別表のよう

に「健全化勉強会」を開いた。各支部で合計704名が参加し、本部開催と合わせて894名となった。「勉強会」は、「開催の趣旨と日遊協の基本的方針」を堀内文隆専務理事、篠原弘志常務理事、伊東慎吾常務理事が交代で受け持ち、具体的な対応については茂木欣人風営法PTリーダーが支部すべてを担当し、講演した。

のあと個別に茂木リーダーに質問する人も多く、「対応の理解ができた」「聞いてよかった」「有意義」などの声が聞かれた。支部によっては、「依存問題」「置引き問題」についても合わせて勉強した。

説明し、各会場とも参加者は真剣にメモを取り、写真を撮るなどしていた。講演



北海道支部の勉強会でスピーチする堀内文隆専務理事



166名を集めた中国・四国支部の勉強会会場



九州支部の勉強会でスピーチする茂木リーダー（立っている）

茂木リーダーは、スクリーンを使い図表など具体的に分かり易く

<各会場の開催概要>

担当	日程・時間	会場	参加数
本部	7月6日(月) 15:00~17:30	アットビジネスセンター 東京駅八重洲通り	190名
東北	7月24日(金) 15:00~16:30	パレス平安	53名
近畿	7月28日(火) 15:00~16:40	難波御堂筋ホール	98名
中部	7月29日(水) 15:00~17:00	アイリス愛知2階	90名
中四国	7月30日(木) 15:00~16:30	広島ガーデンパレス	166名
九州	7月31日(金) 14:15~15:00	福岡県遊技会館・会議室	74名
東京都 関東	8月5日(火) 16:00~17:30	オーラム	161名
北海道	8月7日(金) 15:00~16:10	ホテルレオパレス札幌	62名
合計			894名

遊技くぎの問題については、警察

察庁は本年1月の全日遊連、6月の日遊協総会などで「不正改造」の指摘を行い、警察庁の要請を受けた健全化推進機構が

6月から遊技機性能検査を始めた。日遊協は、業界の混乱を避け改善の実をあげるために、本部主催健全化勉強会を7月6日、東京で開き190名の参加を得た。

推進機構「遊技機性能調査」

少しだけ改善の兆し

8月までの一般入賞口への入賞

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（五木田彬代表理事）は8月3日、警察庁の要請に基づいて6月1日から開始している「遊技機性能調査」の6、7月の結果（概要）を、各社員団体に通知した。

調査は、パチンコ遊技機について一般入賞口への入賞状況の確認を中心に、1台の遊技機において大当たり等を挟まず、2000個以上の打ち出しが確認できた調査のみを有効とした。結果について機構は、「保通協試験時の状態からは『ほど遠い』状態の遊技機が市場に設置されている」としながらも、「6月より7月のほうが一般入賞口に入賞した遊技機の台数の割合が増加しており、さらに一般入賞口の入賞球数も3000個の打ち出しに対して二桁に達した遊技機も確認され、改善の兆しが少し見られる状況になった」と判断している。

ひどすぎる場合は通報も

推進機構は当初、9月に6〜8月分の公表を予定していたが、情

報公開を早めることでさらなる改善を促すべきと判断して、8月に6、7月分の公表に踏み切った。また、6か月間ほどは異常が確認されても通報を行わない猶予期間となっているが、「あまりにひどい状況が確認された場合には猶予期間内であっても当該都道府県警察の担当部署に通報することがありうる」としている。なお、胴式遊技機については今回実施されなかった。

調査結果の概要は次のとおり。

〔6月〕

有効調査台数 全国7地区23店舗の32台
 打ち出し球数 2650〜3701個（平均3032個）
 一般入賞口への入賞が確認された遊技機台数 9台（28・1%）
 入賞が確認された台の一般入賞口への入賞球数 1〜7個
 その内訳 1〜3個4台▽4〜6個4台▽7〜9個1台▽10個以上ゼロ

〔7月〕

有効調査台数 全国25地区76店舗

の124台
 打ち出し球数 2069〜3220個（平均2929個）
 一般入賞口への入賞が確認された遊技機台数 53台（42・7%）
 入賞が確認された台の一般入賞口への入賞球数 1〜10個

その内訳 1〜3個37台▽4〜6個11台▽7〜9個4台▽10個以上1台

7月1台、8月は3台に

約3千個で10個以上の入賞

一般社団法人遊技産業健全化推進機構は9月1日、8月分の遊技機性能調査結果を発表した。8月は3333個の打ち出しで30個の入賞が確認された遊技機があったほか、10個以上の入賞が確認された遊技機も3台に増えたことから、一部の店舗では取扱説明書に近づける努力が行われているとみている。

〔8月の調査結果概要〕

有効調査台数 全国22地区62店舗の102台
 打ち出し球数 2071〜3376個（平均2987個）
 一般入賞口への入賞が確認された遊技機台数 34台（33・3%）
 入賞が確認された台の一般入賞口への入賞球数 1〜30個
 その内訳 1〜3個24台▽4〜6個

4台▽7〜9個3台▽10個以上3台
 PSIO・不正対策室会議

今年最高の838件

増え続ける情報入力

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は8月26日、日遊協本部会議室で委員ら15人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2015年7月のPSIOオンラインネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は838件。業界から49件、一般ファンから789件の入力があり、2014年7月と比べると78件増（2014年7月60件）となり、今年1月からの増加は続き6月、7月と連続で800件を超えた。

不正情報を分析した不正対策室会議



新台入替と部品交換ルール

9月中の完成をめざす

要綱、規程に
実施要項も新設

新台入替と部品交換のルールづくりで、日遊協、日工組、日電協の3団体会議が8月28日、日遊協本部会議室で開かれた。7月16日、8月17日に引き続き会議となった。この日は日遊協から大久保正博副会長、堀内文隆専務理事、篠原弘志特別参与、日工組から金沢全求理事長、井上孝司副理事長、日電協から兼次民喜、小林友也両



「流通健全化要綱案」などが審議された日遊協、日工組、日電協の3団体会議

副理事長、および3団体の実務担当者が出席した。オブザーバーとして行政が同席した。

日工組、日電協による「遊技機流通健全化要綱(案)」と「遊技機製造業者の業務委託に関する規程(案)」が提出され、検討が加えられた。要綱、規程ともこのあと事務レベルで修正した上、実施要領も新設し、できれば9月中に全部を完成させたいとしている。

また、部品交換とそれに伴う点検確認については、件数が膨大なために何らかの改善措置が必要となることが認識され、部品の仕分けとその点検確認の主体についても具体的に議論がなされ、今後詰りを急ぐこととなった。

新台入替と部品交換のルールづくりで、日遊協、日工組、日電協の3団体による打合せ会議が8月17日、日遊協本部会議室で行われた。日遊協から堀内文隆専務理事、篠原弘志特別参与が出席した。

「日遊協」で検索!

広報調査委員会
8月10日
本部会議室
出席委員等13人

「情報交換会」の内容詰め 「業界情報のまとめ」部訂正

「業界情報のまとめ」に関して、7月13日に発表されたレジャー白書が大幅な修正を行ったため、「業界規模」の記述を協議し、数字など表現を訂正した。9月17日の理事会に「業界情報のまとめ」を提出し、審議を要請する。

この日の広報調査委員会後に開かれる「ファン雑誌・WEB情報

交換会」について、今回はファン雑誌との会議だが、討議内容など最終的な詰めを行った。福山裕治委員長は「業界が一丸となって復興を目指していくなか、ファンとの懸け橋であるメディアとの情報交換は、双方にとって有益で、我々も今後の広報活動に活かしていきたい」と趣旨をまとめた。攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会に参加していた3社が出席し、テーマは、依存問題への対応、新遊パチの名称などを予定している。WEBとの情報交換会は9月中に開くことを確認した。